

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	261013	事業期間	平成 26 年度～平成 30 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
英文学術誌の刊行による物理学情報発信強化の取り組み		一般社団法人 日本物理学会	会長 藤井 保彦
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of the Physical Society of Japan / JPS Conference Proceedings			JPSJ/ JPS Conf. Proc.

【平成 28 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>JPSJ は、物理学の発展を支えてきた創刊 70 年の歴史を持つ英文学術誌である。提案した課題・目標に真剣に取り組み、JPSJ Conference Proceedings の刊行、News and Comments の充実等、着実に成果を上げており高く評価できる。</p> <p>一方、投稿論文数の減少、質の高い論文の外国有力誌への流出等、日本学術誌共通の課題にも直面しているが、将来計画検討 WG を設置して取り組んでおり、これも評価できる。</p> <p>しかし、将来的には、例えば Letter 誌を独立させ、外国有力誌と対抗できる新たな Express 誌を創刊する等の抜本的な対策も検討が必要である。</p>	